

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりできる児童が全体的に少ない。</li> <li>・文章や資料から必要な情報を読み取り、それを基に考え、表現する力を高める必要がある。</li> <li>・文字や語句、漢字、文法の定着に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き音読練習に取り組ませ、内容を深く理解したり、語彙力や表現力を高めたりする。</li> <li>・友達と交流する機会を多く設け、相手や目的に応じた話す力、聞く力を付けられるようにする。</li> <li>・書くことを習慣付けるとともに、推敲したり、友達と読み合ったりして、表現力を高める。</li> <li>・けやきタイムなどに、文字や語句、漢字、文法のプリント等を活用して理解を深める。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防施設を調べたり、水の実験をしたりといった体験学習に意欲的に取り組む。</li> <li>・調べたことを新聞やポスターにまとめる活動を好む児童が多い。</li> <li>・映像資料を好む。地図、グラフ、文章から情報を読み、考える力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を身近なものとして捉えられるような問いや学習課題を設定して、児童が自分事として考えられるようにする。</li> <li>・地図などの資料を読む活動を多く取り入れる。また、ICT機器を活用して、資料を効果的に捉えられるようにする。</li> <li>・学習をまとめた作品を掲示して見合うことで、表現力を高める。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別に学習することで、一人一人に合った学習ができています。</li> <li>・既習事項を生かして問題解決に取り組んでいる児童と、そうでない児童がいる。</li> <li>・自分の考えをノートに書けるようになってきたが、友達に分かりやすく説明する力を高める必要がある。</li> <li>・数量感覚を身に付けたり、文章問題を読んで場面をイメージしたりする力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやきタイムを使って、東京ベーシックドリルの練習プリントに繰り返し取り組み、基礎基本の定着を図る。</li> <li>・考えをノートに書いたり、説明したりする経験を多く積めるようにする。</li> <li>・友達と話し合う対話的な活動を取り入れることで、分かりやすく説明できるようにする。</li> <li>・図や数直線に表して考えさせることで、場面を整理し、立式につなげる。</li> </ul>	

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察に、意欲的に取り組む。</li> <li>・実験や観察のねらいをつかめていない児童がいる。</li> <li>・実験や観察の結果から考察し、身近な出来事と結びつけて考える力を伸ばす必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を身近なものとして考えられるよう、実験や観察と実体験を結び付けて考えるよう指導する。</li> <li>・問題意識をもち、予想→実験・観察→結果のまとめ→考察の流れで繰り返し学習できるようにする。</li> <li>・考察の場面では、何を調べる実験だったのか振り返ることで思考を整理し、結果から分かることをノートに書くよう促す。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に運動に取り組んでいる。</li> <li>・チームやグループで運動することで、アドバイスし合って運動するようになってきた。</li> <li>・できないこと、苦手なことに対し、どのようにしたらできるようになるかを思考・判断する力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育カードを活用し、見通しをもって本時の学習に取り組めるようにする。</li> <li>・友達と学び合う場を設定することで、友達のよさに気付き、自己の運動の改善につながるようにする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜通りに歌ったり演奏したり楽譜を分析することができる。</li> <li>・いろいろなリズムを聴くことは好きだがリズムによって演奏することが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな国の音楽を鑑賞する場を設ける。そしていろいろなリズムによって歌ったり打楽器を演奏したりして、体を使って演奏する体験ができるようにする。</li> <li>・歌の声を電子黒板や映像などを通して鑑賞できるようにする。ペア学習により自分の声と友だちの声を聴き比べる。</li> </ul>	
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に見通しがもてない。</li> <li>・途中までつくったけれど自分の思い通りにならないとあきらめがちである。</li> <li>・既習事項を生かして表現できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者や友達と考えながらつくる。手順を細かく分けて考えるよう指導する。</li> <li>・計画的な造形体験を積み重ね、技能の定着を図る。</li> <li>・表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。</li> </ul>	